

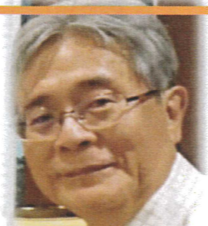
にじの便り

2020.10月発行
＜第16号＞
編集責任者:堀口 徹
(年4回
6月・8月・10月・1月発行)

介護老人保健施設 にじの丘足柄 〒250-0113南足柄市岩原699
電話 0465-70-2222 メールアドレス rainbows@kiyoukai.jp

元気を取り戻す 施設をめざして

にじの丘足柄施設長
堀口 徹



今年も早いもので、残すところ3ヶ月となりました。世界中で新型コロナウイルスが猛威を振るい、生活様式の変更を余儀なくされました。

皆様には、面会制限等で大変ご不便をおかけしております。

一日でも早く元の生活に戻るよう願っています。

さて前置きが長くなりましたが、当施設では、厚生労働省の示す介護老人

保健施設における在宅復帰並びに在宅支援の取り組みとして、これまで

リハビリ、看護、介護、栄養といった多職種連携の下、ご利用者様の

在宅復帰並びに支援に取り組んでまいりました。

2017年9月より支援加算型、2019年10月より在宅強化型そして

このたび、2020年11月より在宅復帰・在宅療養支援機能に対する評価の算定要件を満たすことにより、新たに『超強化型』を算定する運びとなりました。

ご利用者並びにご家族様におかれましては、体制変更に伴う料金変更によりご迷惑をお掛け致しますが、ご理解下さいますようお願い申し上げます。

算定後も引き続き、老人保健施設の役割である在宅復帰並びに支援に

取り組み、より良いサービスが常に提供できるように、スタッフ一同、

日々努力してまいります。



【祝・敬老の日】



入所のご利用者様は、敬老の日に記念写真を撮影しご家族様へ郵送させていただきました。

デイケアのご利用者様には"あまびえ"のお守りをプレゼントしました。

通所リハビリテーション(デイケア)ご利用者様へ

新型コロナウイルスをはじめ、季節柄ノロウイルスやインフルエンザの感染症が心配される時期となりました。多数の方が同じ空間を共有する点でも決して感染予防をお約束をできる環境ではありませんが、ご理解の上でのご利用をお願い致します。

現在もご利用日前日に体調確認のご連絡をさせていただいておりますが、引き続き、体温測定、マスクの着用のご協力をお願いいたします。

★ご家族様も含め、疑わしい症状や診断を受けられた際はご一報をお願いいたします。

★インフルエンザの予防接種を受けられた方は、連絡帳でも構いませんのでお知らせください。

編集後記

今号は体制変更にあたり、リハビリ室中心にお届けいたしました。いかがだったでしょうか。これからもご利用者様の施設内での様子など、随時お知らせできたらと思います。朝晩だいぶ涼しくなってきました。体調を崩さないように元気にお過ごしください。

広報:石塚・小清水・曾我 総務:児玉・新田



リハビリ室係長
船橋庄司

【リハビリ室紹介】

日頃より、当施設をご利用頂きありがとうございます。現在、リハビリテーション室は12名の職員で皆様にリハビリテーションを提供させて頂いており、県西地区2市8町の中でも、この職員数の老人保健施設は他には多くなく、リハビリテーションを積極的に実施し在宅復帰して頂くという本来の老人保健施設の役割に向けて、職員一丸となって頑張っております。



【当施設のリハビリ】

現在、にじの丘足柄では、リハビリテーションの3本柱であります、理学療法・作業療法・言語聴覚療法を入所・短期入所・通所・訪問と全てのサービスにおいて、ご利用者様の疾患や体調、病期に合わせて提供させて頂いております。



言語聴覚士(ST)

【超強化型への移行に関して】

今回、当施設は超強化型老人保健施設へ変更となります。今まで以上に、入所サービスご利用者様の在宅復帰に力を入れていくとともに、在宅生活を維持していくための、短期入所・通所・訪問それぞれのリハビリテーションのサービスの強化、地域のケアマネージャーや他事業所とも積極的に関わりを図っていき、「地域の在宅生活における拠点施設」を目指していきたいと考えております。

当施設は「超強化型老人保健施設」となります



作業療法士(OT)

【コロナウィルス対策】

今回のコロナウィルス感染拡大において、ご利用者様の現状能力の維持をしていく事の難しさも考えさせられました。入所サービスでは訓練の継続は可能でしたが、通所サービスでは感染予防の観点から数名のご利用者様が長期の休みに入られ、再開後に機能・能力の低下を認めました。いかに普段から行っていたリハビリテーションが機能・能力を維持する為に大切という事を、リハビリテーションを提供させて頂いている私共も痛感致しましたので、今後コロナウィルスだけでなく、諸事情により長期の休みに入られる方には、訪問でのサービス提供も積極的に実施していきたいと考えております。



理学療法士(PT)